



WIN PARTNERS  
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

# PARTNERS Report

ウイン・パートナーズ 株式会社  
第1期第2四半期 株主通信 Vol.2

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本年4月に医療機器商社であるウイン・インターナショナルとテスコを経営統合し、共同持株会社を発足させてから半年が経ちました。この間、グループの経営基盤および低侵襲医療分野におけるウイン・パートナーズブランドの確立に努めました。当上半期の業績は当社グループの専門分野である心疾患の症例数が増加したことにより好調に推移し、通期の目標に向けて順調に進捗しております。今後もグループ力を結集し、新しいニーズを創造し、次世代医療関連ビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 秋沢英海



## 01 PARTNERS Report

### 業界再編を勝ち抜くグループ体制により、 新たな成長フェーズに向かってまいります。

#### 連結財務ハイライト

(2014年3月期 第2四半期連結累計期間)

売上高	22,230	百万円
営業利益	1,051	百万円
経常利益	1,059	百万円
四半期純利益	1,021	百万円
1株当たり四半期純利益	71.14	円

#### ウイン・パートナーズグループ



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE  
**WIN PARTNERS**



**WIN INTERNATIONAL**



**テスコ**  
TECHNICAL SERVICE CORPORATION

## Q-1 共同持株会社体制に移行して半年。現在の状況はいかがですか。

当上半期は売上高222億30百万円、経常利益10億59百万円、四半期純利益10億21百万円となりました。経営統合前と後で比較はできませんが、2社の合算比でも2桁の増収増益となり、期初予想を達成することができました。

当四半期純利益はテスコとの統合による負ののれん等を特別利益として計上したことにより、大幅増益とな

りました。当社グループは2014年3月期の目標として売上高455億80百万円、経常利益22億88百万円、当期純利益15億97百万円を掲げていますが、その目標に向けて順調に進捗しております。

## Q-2 当上半期の具体的な営業活動について教えてください。

具体的な取り組みとしては、病院経営の視点に立ち、顧客医療機関における患者数の増加策や症例開始のための提案等を行いました。また傘下の子会社の連携を強化し、新規顧客開拓を積極的に行うとともに、既存顧客に対しても診療科目の拡大を図るなど、営業活動を強化し、院内シェアを高めました。

昨年開設した山口出張所、札幌営業所がフル稼働したことと、前期の上期に集中的に人員を強化した高松営業所が県内シェアを大きく伸ばしたことも業績に寄与しました。

この結果、全てのセグメントにおいて売上高は金額および数量ともに増加しました。主力セグメントで

あるPCI（虚血性心疾患関連）は当社グループの顧客である医療施設への患者の集中化が進み、堅調に推移しました。

またCRS（心臓律動管理関連）、CVS（心臓血管外科関連）、心臓以外の領域でも脳外科およびPPI（末梢血管疾患関連）のセグメントで2桁の増収を達成することができました。これは前期にMRI対応型のペースメーカーや下肢などの末梢血管に使用されるステントなど高付加価値の新製品が市場に投入され、早い段階から積極的な営業活動を展開したことによるものです。

### Q-3 下期および中期的な展望をお教え下さい。

本年10月に大動脈弁狭窄症の低侵襲治療法である「TAVI」(タビ:経カテーテル大動脈弁植込術)が承認されました。この治療法は、これまで高齢や心臓以外の疾患などの理由によって外科手術に耐えられず薬物等による対症療法しか選択肢がなかった重症の患者に新しい治療の可能性を拓く画期的な治療法です。当社は、いち早く内外から情報収集を行い、医療機関にプロモーション活動を展開すると同時に、難易度が高い手技であるため、支援体制の構築を行ってまいりました。TAVI保険適用開始にあたり国内で8施設が認定を受け、その内、当社は2施設との取引を開始することができました(2013年11月12日現在)。

また、TAVIなどの高度な治療においては、特別な設備や手術を行うための施設認定を受けなければなりません。そのための条件のひとつにハイブリッド手

術室の設置があります。ハイブリッド手術室とは、外科の手術室に内科的治療を行うための設備・装置を備えた手術室のことで、内科的治療と外科手術を組み合わせた治療を可能とします。当社グループではハイブリッド手術室の導入支援を強化するため、2013年5月に一級建築士事務所の登録を行いました。これによりハイブリッド手術室の設計から施工までが自社で行えるようになりました。

医療技術は日進月歩で進化しておりますが、当社は国内のみならず海外からも独自に情報収集を行い、常に知識、技術をアップデートしながら、いち早く新しい治療法、医療機器の導入をサポートできるよう研鑽を積んでおります。今後も当社グループの専門性を活かし、顧客である医療機関とともに潜在患者および市場を開拓してまいります。

### Q-4 経営統合の成果はどうでしょうか。

2社で重複するエリアについては、来春、営業拠点を統合する予定であり、東北地区でのエリアマーケティングがより強化されます。また、マーケットシェアの拡

大により、仕入コストを抑えることが可能になります。それを単純に当社グループの利益に上積みだけではなく、お客様に還元し、マーケットシェアの拡大に繋げ

ることも戦略の一つと考えています。

当上半期はグループの経営資源の有効活用のため、人事制度改革に着手し、また基幹システム統一に向けての準備も開始しました。統合シナジーについては、引き続き精査をしながら最適な方法を見出したいと考えています。経営統合がより高い効果をもたらすよう

に「仕入れの合理化」や「エリアマーケティングの強化」を図っていきます。とりわけ来春には医療保険制度改正と消費増税が控えています。こうした市場環境もにらみながら、経営の効率化と営業強化によってさらなる成長を続けていきます。

## Q-5 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

医療機器販売商社である当社グループは、医療機関を陰で支えており、表舞台で目立つ存在ではありませんが、常に医療現場、医療関係者に寄り添いながら最高の医療を提供できる体制作り尽力しております。日本の医療においては現在、医療財源の確保という大きな社会的課題があります。当社はこの大きな課題の解決に対し、加療・入院期間の短縮に繋がる低侵襲医療の普及を今後も推進していく考えです。またグループ化を進めることにより、1,200社を超える中小零細企業が存在する医療機器販売業界における中間コストの削減にも貢献したいと考えております。株主の皆様のご支援にお応えするため、なお一層の企業価値の向上を図り、配当性向30%以上を目標に継続的な利益還元を努めてまいります。

当社が掲げる「すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフを提供し、豊かな社会の実現に貢献する」という

経営理念の実現のため、身体にやさしい低侵襲医療の普及を事業の中核に据え、今後も真摯に邁進してまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。



## 低侵襲医療関連機器の取り扱いで、業界をリードしています。

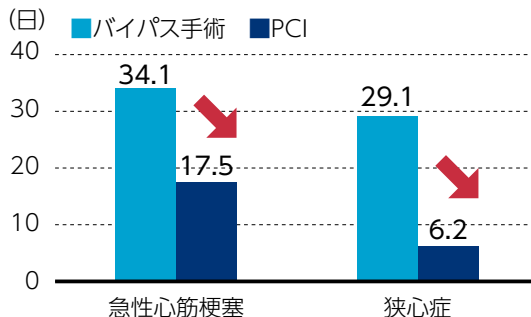
### 低侵襲医療とは

検査や治療において、身体に対する侵襲、つまり身体的負担(熱・出血・苦痛)をできるだけ少なくすること。患者のクオリティ・オブ・ライフ(QOL:生活の質)を向上させることができます。

### 低侵襲医療とその有効性

従来型のバイパス手術とカテーテルを用いたPCIとの在院日数を比較すると、右図のとおり急性心筋梗塞では約半分、狭心症では約5分の1と入院期間を大幅に短縮できます。これにより、医療施設の効率化や医療費の抑制にも寄与します。

平均在院日数の比較



出典:厚生労働省 平成24年度第5回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会議事次第に基づき当社作成

QOLの向上が重要視され、医療は低侵襲や無侵襲の方向に進んでいます。当社グループは、循環器系を中心に、さまざまな領域の医療機器を取り扱っています。とりわけ心筋梗塞や狭心症の治療に使用される心臓カテーテルの販売は、業界でもトップシェアを誇っています。

低侵襲治療に使われる  
心臓カテーテル製品の販売

国内 *No. 1*

### 心臓以外の領域へ——治療法の発展とともに事業拡大

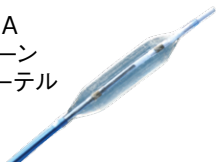
新しい高度な治療法が次々と開発され、低侵襲医療の領域は心臓以外にも拡大しています。当社グループは、循環器系関連から末梢血管疾患関連・脳神経外科関連・糖尿病関連へと着実に事業領域を広げ、取扱製品を拡充しています。

## 主要取扱製品

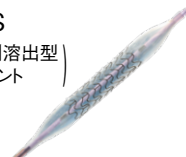
### PCI

[ 虚血性  
心疾患関連 ]

PTCA  
バルーン  
カテーテル



DES  
(薬剤溶出型)  
ステント



IVUS  
(血管内超音波診断カテーテル)



### CRS

[ 心臓律動  
管理関連 ]

ペースメーカ



ICD  
(植込型除細動器)



CRTD  
(両室ペーシング機能付き  
植込型除細動器)



ABRL  
(心筋焼灼術用カテーテル)



### CVS

[ 心臓血管  
外科関連 ]

ステントグラフト



TAVI用生体弁  
(経カテーテル大動脈弁植込術用生体弁)



機械弁



### PPI

[ 末梢血管  
疾患関連 ]

脳外科

末梢血管用ステント



頸動脈用ステント



塞栓用コイル



### DMS

[ 糖尿病関連 ]

大型医療  
機器 他

インスリン  
ポンプ



アンギオ装置  
(血管造影装置)



MRI

(磁気共鳴画像  
診断装置)





## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 2013年9月30日
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>19,661</b>
現金及び預金	6,928
受取手形及び売掛金	10,942
商品	1,402
その他	387
<b>固定資産</b>	<b>2,723</b>
有形固定資産	1,774
無形固定資産	282
投資その他の資産	666
<b>資産合計</b>	<b>22,384</b>
<b>負債の部</b>	
<b>流動負債</b>	<b>11,605</b>
支払手形及び買掛金	10,742
未払法人税等	422
賞与引当金	191
その他	249
<b>固定負債</b>	<b>353</b>
<b>負債合計</b>	<b>11,959</b>
<b>純資産の部</b>	
<b>株主資本</b>	<b>10,333</b>
資本金	550
資本剰余金	2,272
利益剰余金	8,048
自己株式	△537
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>91</b>
<b>純資産合計</b>	<b>10,425</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>22,384</b>

## 連結財政状態

総資産 **22,384** 百万円純資産 **10,425** 百万円自己資本比率 **46.6%**1株当たり純資産 **726.27** 円

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 2013年4月1日～ 2013年9月30日
<b>売上高</b>	<b>22,230</b>
売上原価	19,226
売上総利益	3,003
販売費及び一般管理費	1,952
<b>営業利益</b>	<b>1,051</b>
営業外収益	8
営業外費用	0
<b>経常利益</b>	<b>1,059</b>
特別利益	377
特別損失	0
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,435</b>
法人税等	414
少数株主損益調整前四半期純利益	1,021
<b>四半期純利益</b>	<b>1,021</b>

## 包括利益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 2013年4月1日～ 2013年9月30日
少数株主損益調整前四半期純利益	1,021
その他の包括利益	15
<b>四半期包括利益</b>	<b>1,036</b>

## Point

## 売上高・営業利益

医療機関のコスト意識が高まる中、病院経営の視点に立った提案を積極的に行い、顧客施設において症例数が増加しました。販売数量の増加に伴い、売上高および営業利益を順調に伸ばしました。

## 四半期純利益

経営統合に伴う負ののれん発生益196百万円及び段階取得に係る差益180百万円を特別利益として計上したため、四半期純利益は1,021百万円となりました。



## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期期 2013年4月1日～ 2013年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	738
投資活動によるキャッシュ・フロー	△335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△355
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額	47
現金及び現金同等物の期首残高	4,611
現金及び現金同等物の期末残高	6,928

## Point

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

純粋な営業活動で得られた収入が1,333百万円ある一方、法人税等を599百万円支払ったことなどにより738百万円の収入となりました。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が295百万円あったことなどにより335百万円の支出となりました。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

連結子会社において前期の配当金を支払ったことにより355百万円の支出となりました。

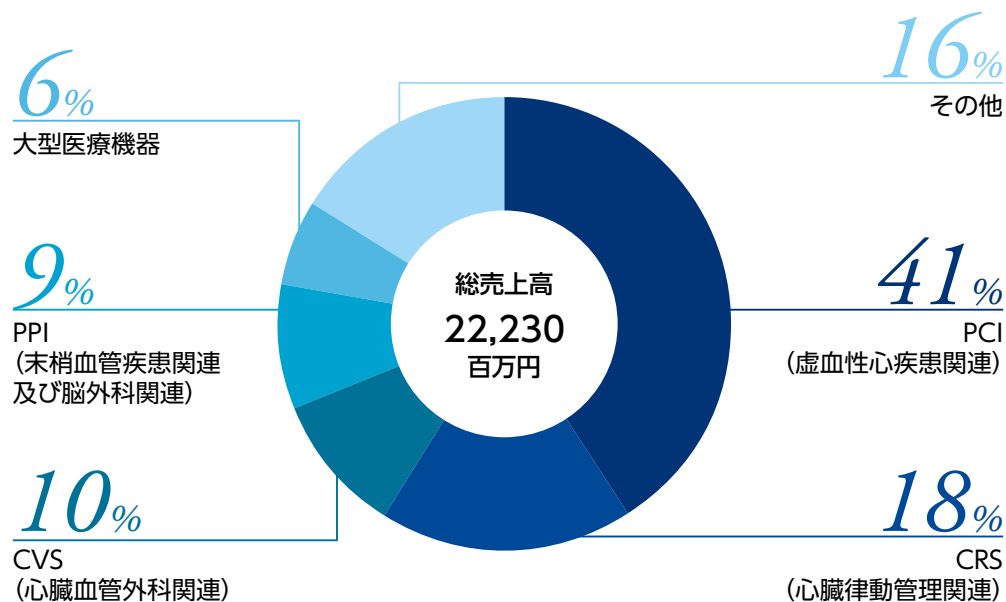
## 現金及び現金同等物の四半期末残高

6,928百万円のうち、株式移転による現金及び現金同等物の増加額として2,269百万円を計上しています。

## IRカレンダー



## セグメント別売上高構成比



## ● PCI (虚血性心疾患関連) ●

患者数の増加策の提案等により、低侵襲治療で用いられる薬剤溶出型ステント (DES)、PTCAバルーンカテーテル等の販売数量が伸びました。

## ● CRS (心臓律動管理関連) ●

新規顧客の開拓やMRI対応型のペースメーカの拡販に注力したほか、両室ペーシング機能付き植込型除細動器 (CRTD) や、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル等のEPアブレーション関連商品においても症例数が増加し、販売数量が伸びました。

## ● CVS (心臓血管外科関連) ●

ステントグラフト内挿術の普及、症例数の増加を見込み、認定施設に対する新規顧客開拓活動を積極的に行ったことなどにより関連商品の販売数量が伸びました。

## ● PPI (末梢血管疾患関連及び脳外科関連) ●

新商品の導入などにより症例数が増加し、売上は全体的に好調でした。特に末梢血管疾患関連市場が、新商品の保険適用等により拡大しています。

## ● 大型医療機器 ●

医療施設の新築・増改築等の設備投資に関する情報や大型医療機器の需要に関する情報の収集、一級建築士事務所登録による構想・設計段階からのアプローチなどにより受注件数が増加しました。

## ● その他 ●

心臓以外の診療科への営業活動を強化し、院内シェアの拡大を図りました。また、合併症への対応を見据えて参入した糖尿病関連商品では、インスリンポンプのレンタルの普及が進みました。

### 会社概要

(2013年9月30日現在)

社名	ウイン・パートナーズ株式会社
英文社名	WIN-Partners Co., Ltd.
事業内容	医療機器販売等を行う会社の経営 管理及びそれに付帯又は関連する 事業等
本店所在地	東京都台東区台東四丁目24番8号
グループ会社	株式会社ウイン・インターナショナル、 テスコ株式会社
設立年月日	2013年4月1日
資本金	5億5千万円
従業員数	361名(連結)

### 役員

(2013年9月30日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	秋田 裕二
取締役	三田上 浩美
取締役	村田 裕可
取締役	間島 進吾
監査役	中田 陽一
監査役	神田 安積
監査役	菊地 康夫

### 株式の状況

(2013年9月30日現在)

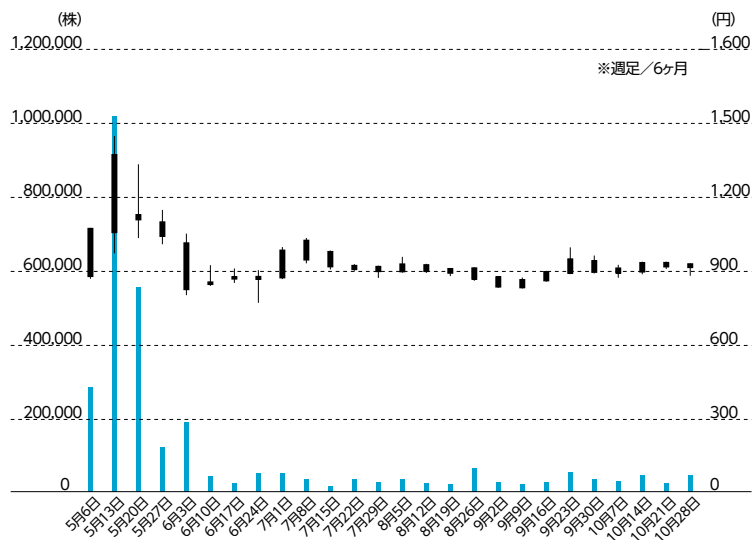
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	15,251,655株
株主数	2,820名

#### 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
秋沢 英海	4,108,200	28.6
ビービーエイチエフオーフィデリティロープライス ドストックファンド(プリンシパルオールセクターサ ポートフォリオ)	1,250,000	8.7
秋田裕二	1,205,745	8.4
株式会社キエマ企画	945,500	6.6
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	5.6

(注)持株比率は自己株式897,433株を控除して計算しております。

#### 株価及び出来高の推移(2013年5月1日~10月31日)



## 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	期末配当金 3月31日
公告の方法	電子公告 <a href="http://www.win-partners.co.jp/koukoku/">http://www.win-partners.co.jp/koukoku/</a> やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(フリーダイヤル)

※株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

**WIN PARTNERS**

**ウイン・パートナーズ 株式会社**

〒110-8558 東京都台東区台東4-24-8

TEL: 03-6895-1234

[www.win-partners.co.jp](http://www.win-partners.co.jp)



WINはQOL推進企業です